

UHFシンセサイザーウイヤレス  
マイクロホン

## WRT-804

UHFシンセサイザートランシッター  
WRT-824

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

## △注意

電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

© 2000 Sony Corporation

Printed in Japan

## 安全のために

ソニー製品は安全に充分に配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

下記の「注意」、「電池についての安全上の注意」の各項をよくお読みください。製品全般および設置の注意事項が記されています。

「本気の性能を維持するため」もあわせてお読みください。

## 定期点検をする

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーの業務用製品ご相談窓口にご相談ください。

## 故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーの業務用製品ご相談窓口にご連絡ください。

## 万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったたら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

- ①電池を抜く。  
②ソニーのサービス窓口に連絡する。

## 炎が出たら

- すぐに電源を切って電池を抜き、消火する。

## 警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

## △危険

この表示の注意事項を守らないと、破裂、発熱、液漏れにより死亡や大けがになります。

## △警告

この表示の注意事項を守らないと、破裂、発熱、液漏れにより、死亡や大けがなどの人身事故になることがあります。

## △注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

## △注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

分解しない、改造しない  
電池交換のために指定されたところ以外の外装を外したり、改造したりすると、けがの原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

## 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、電池がショートしてけがの原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

## 分解禁止

電池交換のために指定されたところ以外の外装を外したり、改造したりすると、けがの原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

## △注意

水や異物が入ると、電池がショートしてけがの原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

## 電池についての安全上の注意

ここでは、本機での使用が可能な電池についての注意事項を記載しています。電池の使い方を誤ると、液漏れ・発熱・破裂・発火・誤飲による大けがや失明の原因となるので、次のことを必ず守ってください。

## 万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
  - ①機器の電源スイッチを切るか、バッテリーチャージャーの電源プラグを抜く。
  - ②ソニーのサービス窓口に連絡する。
- 電池の液が目に入ったら
 

すぐきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受ける。
- 電池の液が皮膚や衣服に着いたら
 

すぐきれいな水で洗い流す。
- バッテリー収納部内に液が漏れたら
 

よくふきとてから、新しい電池を入れる。

## △危険

- 充電には、ソニーの専用バッテリーチャージャー(BC-815)を使用する。充電のしかたについては、バッテリーチャージャーの取扱説明書をよくお読みください。
- 火中に投入、加熱、ハンダ付け、分解、改造しない。
- 直射日光の当たるところ、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温の場所で、使用、放置、充電しない。
- ハンマーでたたくなどの強い衝撃を与えること、踏みつけたりしない。
- 接点部や $\oplus$ 極と $\ominus$ 極をショートさせたり、金属性のものと一緒に携帯・保管をしない。

## △注意

- 投げ付けない。
- 水や海水につけたり、漏らしたりしない。
- 使用推奨期限内(乾電池に記載)の乾電池を使用する。
- ④ $\oplus$ と $\ominus$ の向きを正しく入れる。

## 電池のリサイクルについて



Li-ion

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になった電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店については、有限責任中間法人JBRCホームページ <http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html> を参照してください。

## 本機の性能を維持するために

- 本機の許容動作温度は0°C~40°Cです。ただし、常時高温となる場所や、直射日光のある場所では、表面が変色したり、不具合が生じることがありますのでご注意ください。また、ライトやパワーアンプなどの発熱体の上や近くには置かないでください。
- 水分やほこりの多い所、活性ガスにさらされる所で使用したあとは、早めに端子部や本機表面のお手入れを行ってください。お手入れを怠ったり、このような場所で長時間使用したりすると、機器の寿命を縮める恐れがありますので、ご注意ください。
- 表面や端子部の汚れは、乾いた柔らかい布でふきとてください。シンナーやベンジンなどの薬品類は、表面の仕上げをいためますので使わないでください。
- 裏面の充電端子は、エタノールやクリーニング液(9-919-573-01)を含ませた綿棒などで定期的に(使用頻度により週1回程度)クリーニングしてください。
- その際、充電端子に直接手を触れないようご注意ください。
- 本機内の充電池は、使用していない間に微量の自然放電があります。インジケーターを確認し、早めに充電するようにしてください。

本機は、電波法により工事設計の認証を受けており、認証番号は機銘板またはラベルに表示されています。  
ラベルをはがしたり、本機の内部を改造して使用したりすることは、電波法で禁じられています。

使用時に外來雑音や妨害電波などの影響で雑音が発生し、使用できないチャンネルが生じことがあります。このような場合は、電波の発射を停止する(電源を切る)か、あるいは周波数の変更(チャンネルの切り換え)を行ってください。

## WRT-804/WRT-824の特長

UHFシンセサイザーウイヤレスマイクロホンWRT-804/UHFシンセサイザートランシッターWRT-824は、800MHz帯小電力UHFワイヤレスマイクロホンシステム用の送信機です。本機は30チャンネルの切り換えが可能で、ソニーUHFシンセサイザーチューナーMB-806(WRU-806)との組み合わせにより、教室、ホール、結婚式場、大会議場、屋外コンサートなどでの使用に適しています。

## リチウムイオン充電池／単3乾電池の2電源方式

入手が容易な単3形マンガン乾電池、アルカリ乾電池ばかりでなく、ソニーリチウムイオン充電池LIP-8の使用が可能です。

ソニーリチウムイオン充電池LIP-8は、メモリー効果がなく、リフレッシュ放電をせずにぐり返し充電が可能です。別売の専用充電器BC-815を使って、約10分間の充電で約2時間\*の動作が可能で、緊急の使用に対応することができます。また、約3時間のフル充電で連続約12時間\*の長時間使用が可能です。

\*出力2mW時

## 抗菌剤入りボディ

ボディは衛生面を配慮した抗菌剤入りの材質を採用しています。

## 主な仕様

UHFシンセサイザーウイヤレスマイクロホン  
WRT-804

発振方式	水晶制御PLLシンセサイザー
電波形式	110KF3E
送信周波数	806.125~809.750MHz (125kHz間隔、30波のうち任意の1波)
空中線電力	10mW/2mW切り換え
トーン信号周波数	32.768kHz
アンテナ形式	内蔵
ブリエンファシス	50μs
基準周波数偏移	±5kHz(-60dBV)、変調周波数1kHz
周波数特性	100~15,000Hz
信号対雑音比	60dB以上、(A-weighted、MB-806 with WRU-806にて、基準周波数偏移時)
マイクロホン形式	単一指向性ダイナミック型
電源	DC 1.5V、3.7V 2系統 単3形マンガン乾電池またはアルカリ乾電池 1本、または、ソニーリチウムイオン充電池LIP-8 1本
電池寿命	25°Cで連続使用時 ソニー単3マンガン乾電池： 約8時間(2mW時) 約4時間(10mW時) ソニー単3アルカリ乾電池： 約20時間(2mW時) 約15時間(10mW時) ソニーリチウムイオンバッテリーパックLIP-8 充電時間3時間のフル充電時： 約12時間(2mW時) 約10時間(10mW時) 充電時間10分間時： 約2時間
許容動作温度	0°C~+40°C
許容保存温度	-20°C~+50°C
外形寸法	52×217mm(最大径×長さ)
質量	約210g(電池を含む)
付属品	マイクロホン(1) ドライバー(1) チャンネルシール(1) 取扱説明書(1) 保証書(1)

1) 0 dBV=1 Vrms

## バッテリーアラーム機能

電源を入れると点灯するインジケーターは、電池電圧が規定以下になると消灯し、単3電池の交換のタイミングまたは充電池の充電のタイミングを早めに警告します。アクシデント防止のため、消灯後、約1時間は正常動作が維持されます。また、受信機側でも、送信機のバッテリーアラームが表示されます。

## UHF PLLシンセサイザー方式

簡単なロータリースイッチの設定で、B型30チャンネルの切り換えが可能です。規定のチャンネルから任意の1チャンネルを選択して使用します。

## 使用環境に合わせて送信出力を切り換え可能

送信出力を広域エリアをカバーする高出力の10mW、または教室や会議室などの多チャンネル運用時に適した2mWに切り換えることができます。

## 過大入力による歪みを防止(WRT-824のみ)

入力音声が大きすぎる場合は、音量スイッチで10dBのアッテネーターを設定して、過大入力による歪みを防止することができます。

UHFシンセサイザートランシッター  
WRT-824

発振方式	水晶制御PLLシンセサイザー
電波形式	110KF3E
送信周波数	806.125~809.750MHz (125kHz間隔、30波のうち任意の1波)
空中線電力	10mW/2mW切り換え
トーン信号周波数	32.768kHz
アンテナ形式	内蔵
ブリエンファシス	50μs
基準周波数偏移	±5kHz(-60dBV)、変調周波数1kHz、音量スイッチ0dB時
周波数特性	100~15,000Hz
信号対雑音比	60dB以上、(A-weighted、MB-806 with WRU-806にて、基準周波数偏移時)
音量切換	0~10dB(音量スイッチ大/小)切換え
付属マイクロホン	単一指向性エレクトレットコンデンサー型
電源	DC 1.5V、3.7V 2系統 単3形マンガン乾電池またはアルカリ乾電池 1本、または、ソニーリチウムイオン充電池LIP-8 1本
電池寿命	25°Cで連続使用時 ソニー単3マンガン乾電池： 約8時間(2mW時) 約4時間(10mW時) ソニー単3アルカリ乾電池： 約20時間(2mW時) 約15時間(10mW時) ソニーリチウムイオンバッテリーパックLIP-8 充電時間3時間のフル充電時： 約12時間(2mW時) 約10時間(10mW時) 充電時間10分間時： 約2時間
許容動作温度	0°C~+40°C
許容保存温度	-20°C~+50°C
外形寸法	58×100×25mm(幅×高さ×奥行き)
質量	約110g(電池を含む)
付属品	ラベリアマイクロホン(1) ウインドスクリーン(1) ベルトクリップ(1) ドライバー(1) チャンネルシール(1) 取扱説明書(1) 保証書(1)

1) 0 dBV=1 Vrms

## 別売りアクセサリー

バッテリーチャージャー BC-815

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります、ご了承ください。

## 保証書とアフターサービス

## 保証書

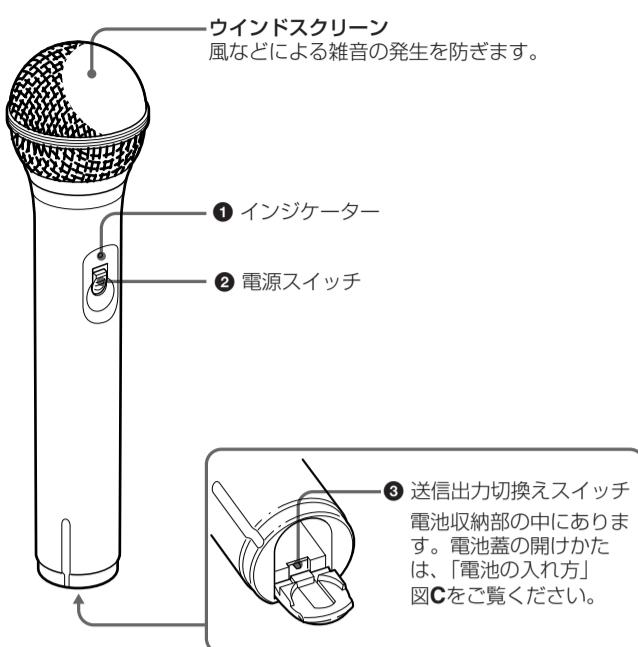
- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際に受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

## アフターサービス

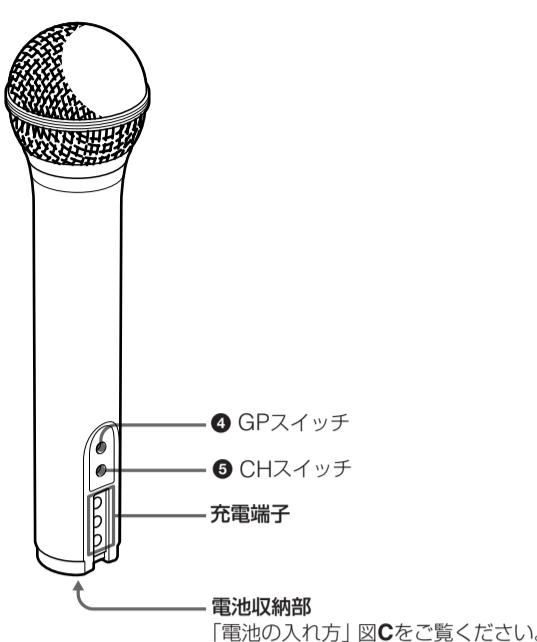
## 各部の名称と働き

UHFシンセサイザーワイヤレスマイクロホンWRT-804については、図Aをご覧ください。  
WRT-804、WRT-824双方に備えられている機能については、下記①～⑤の説明をご覧ください。WRT-824にのみ備えられている機能については、⑥、⑦と図B中の説明をご覧ください。

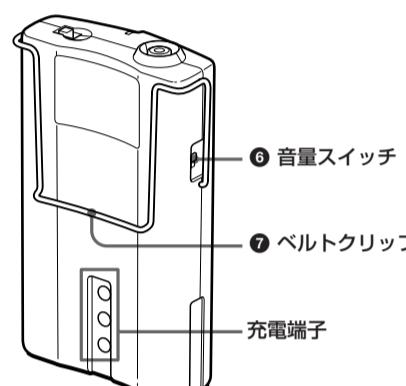
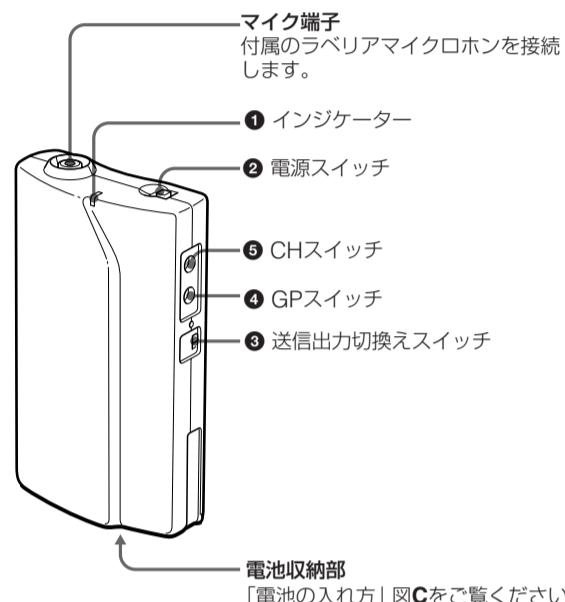
### A UHFシンセサイザーワイヤレスマイクロホン WRT-804



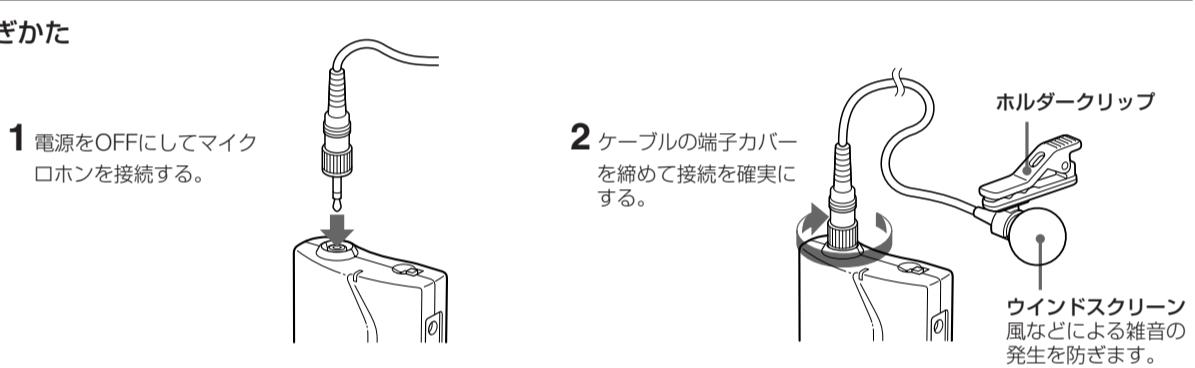
WRT-804、WRT-824双方に備えられている機能については、下記①～⑤の説明をご覧ください。WRT-824にのみ備えられている機能については、⑥、⑦と図B中の説明をご覧ください。



### B UHFシンセサイザートランスマッターWRT-824



#### マイクのつなぎかた



① インジケーター  
本機の電源が入ると赤く点灯します。電源を切ったとき、および電池が消耗すると消灯します。

② 電源スイッチ  
本機の電源をON/OFFします。  
WRT-804はスイッチを上側にするとONです。WRT-824はスイッチを右側にするとONです。

③ 送信出力切換スイッチ  
本機の送信出力を切り替えます。教室や会議室など屋内の狭い場所で使用する場合は「2mW」に設定し、屋外など広い場所で使用する場合は「10mW」に設定してください。  
◆ WRT-804では、このスイッチは電池収納部の中になります。電池蓋の開けかたについては、「電池の入れ方」図Cをご覧ください。

④ GP (グループ) スイッチ/⑤ CH (チャンネル) スイッチ  
送信チャンネルを選択します。  
周波数表(右段)のチャンネル番号の10の位はGPスイッチ④で選択します。

1の位はCHスイッチ⑤で選択します。  
◆ 詳しくは、右段の「送信チャンネルの設定」をご覧ください。

⑥ 音量スイッチ (WRT-824のみ)

通常は「大」側にセットしておきます。  
入力音声が大きすぎる場合は「小」側にすると入力音圧が下がり(-10dB)、過大入力によるひずみの発生を防ぐことができます。

⑦ ベルトクリップ (WRT-824のみ)

音量スイッチや送信チャンネルを設定する場合、またベルトクリップを使用しない場合は、クリップの脚を左右に広げて本体から取り外してください。

## 電源

本機は、単3アルカリ乾電池、単3マンガン乾電池およびソニーリチウムイオン充電池LIP-8で動作します。

電池が消耗してくると、インジケーターが消灯します。消灯してから約1時間は正常に動作しますが、なるべく早めに新しい電池と交換してください。また、ソニーリチウムイオン充電池LIP-8をご使用の場合は、充電してください。

電池の入れ方については、右段の「電池の入れ方」をご覧ください。

#### リチウムイオン充電池を充電するには

ソニーリチウムイオン充電池LIP-8使用時、フル充電(3時間)で、本機は出力2mW時は連続12時間、出力10mW時は連続10時間動作します。また、緊急の使用に対しては、10分間の充電で、連続2時間動作します。

充電するには、別売の専用バッテリーチャージャーBC-815を使用します。  
◆ 充電について詳しくは、BC-815の取扱説明書をご覧ください。

WRT-804/WRT-824は充電端子を後面にして、止まる位置までしっかりと差し込みます。

充電機器挿入部の左右どちら側に差し込んでも充電できます。

## 電池の入れ方

以下にある電池の入れ方の図は、WRT-804の電池収納部です。  
WRT-824では、電池収納部は底面にあります。電池の入れ方は、WRT-804と同じです。

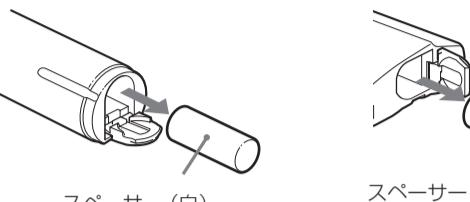
### C 保護材の白いスペーサーを取り外すには

#### WRT-804の場合

1 電池収納部の蓋を下へずらし、外に開く。



2 白いスペーサーを取り外す。



### リチウムイオン充電池を入れるには

#### 1 電池収納部の蓋を下へずらし、外に開く。



2 電池の切り欠き部分を先に入れる。



3 電池を収納部に押し込みながら、もう一方の手で蓋を閉め、蓋をいったん下へずらす。



4 電池蓋を奥へ押しながら上へずらして、ロックする。

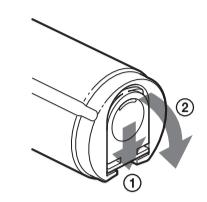


### ご注意

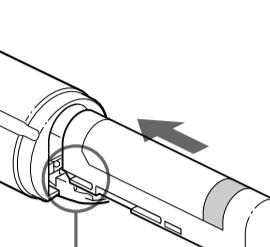
WRT-804とWRT-824の電池収納部に保護材として白いスペーサーが入っています。初めてお使いになるときは、このスペーサーを取り外してからご使用ください。

### リチウムイオン充電池を入れるには

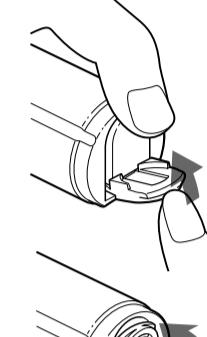
1 電池収納部の蓋を下へずらし、外に開く。



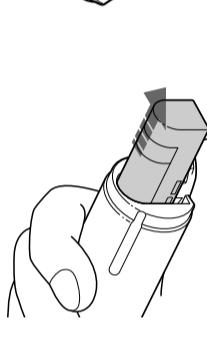
2 電池の切り欠き部分を先に入れる。



3 電池を収納部に押し込みながら、もう一方の手で蓋を閉め、蓋をいったん下へずらす。



4 電池蓋を奥へ押しながら上へずらして、ロックする。



リチウムイオン充電池を取り出すとき、充電池が飛び出す場合がありますのでご注意ください。

## 送信するには

### 送信チャンネルの設定

WRT-804 / WRT-824は、B型標準チャンネルプランの6グループ計30チャンネルを切り換えて使用できます。

ワイヤレスマイクロホンやトランスマッターを同時に複数使用する場合、混信を起こさないチャンネルの組み合わせが豊富に用意されています。

WRT-804 / WRT-824の送信チャンネルと、チューナーの受信チャンネルは必ず同じチャンネルに設定してご使用ください。

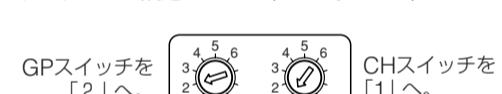
### B型標準チャンネルプラン表

送信チャンネル	周波数(MHz)	送信チャンネル	周波数(MHz)
11	806.125	41	806.750
12	806.375	42	807.500
13	807.125	43	808.000
14	807.750	44	809.125
15	809.000	45	809.375
16	809.500	46	809.750
21	806.250	51	807.625
22	806.500	52	808.125
23	807.000	53	808.375
24	807.875	54	808.750
25	808.500	55	809.625
26	808.875	61	807.250
31	806.625		
32	806.875		
33	807.375		
34	808.250		
35	808.625		
36	809.250		

右記の手順1、2のように、「B型標準チャンネルプラン表」の送信チャンネル番号は、10の位はGPスイッチ(図A・Bの④)で選択します。1の位はCHスイッチ(図A・Bの⑤)で選択します。

1 本機の電源スイッチをOFFにし、付属のドライバーでGPスイッチとCHスイッチを設定します。

例: チャンネル21を設定するには (WRT-824にて)



2 電源スイッチをONにすると、インジケーターが点灯して、設定したチャンネルで送信されます。

### ご注意

周波数表以外のチャンネルを設定した場合は、インジケーターのLEDが点滅して送信できません。

本機の電源スイッチをONにしたままGPスイッチ/CHスイッチでチャンネルを切り換えると、切り換えた後のチャンネルで送信されません。(切り換える前のチャンネルで送信されています。)

この場合、電源スイッチを一度OFFにし、再度ONにすると、切り換えた後のチャンネルで送信されます。

・外來雜音や妨害電波などの影響で雜音が発生し、使用できないチャンネルが出ることがあります。このような場合は、システムの使用チャンネルを設定するときに、ワイヤレスマイクロホン/トランスマッターの電源をOFFにしましたまちゅーなるのRFインジケーターが点灯しないチャンネル(雜音や妨害電波の影響をうけないチャンネル)を選んでお使いください。

・仕切りや障害物がなく、見通せる広い空間で、2つ以上のシステムを同じチャンネルで同時に使用する場合は、システム間の距離を100m以上離してください。

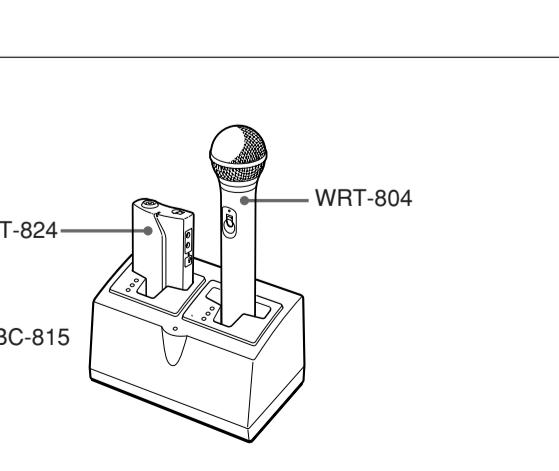
・同一エリア(電波が届く範囲)内の使用は1グループのみ可能です。

・異なるグループを同時に使用する場合は、グループ間の距離を30m以上離せば、最大30チャンネルの使用が可能です。

## 故障かな?と思ったら

修理にだす前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

症状	原因	対策
電源が入らない。	・電池の④、⑤が逆になっています。 ・電池が消耗している。 ・電池端子が汚れている。	正しい方向に入れ直してください。 新しい電池に交換してください。 ④端子、⑤端子を綿棒でクリーニングしてください。
電池がすぐになくなる。	・電池が消耗している。 ・寒い環境で使用している。	低温時は、電池寿命が短くなります。
チャンネルの変更ができない。	・設定モードになっていない。	チャンネルを変更したら、電源スイッチを一度OFFにし、またONにしてください。
音が出ない。	・本機とチューナーのチャンネルが違っている。 ・チューナーのRFインジケーターが点灯しない。 ・アンプ、ミキサーのボリュームが下がっている。	本機とチューナーのチャンネルを合わせてください。 本機の電源を確認してください。 ボリュームを適正音量にしてください。
音が小さい。	・WRT-824の音量スイッチが「小」側になっています。 ・アンプ、ミキサーのボリュームが下がっている。	音量レベルが小さくなっています。WRT-824の音量スイッチを「大」側にしてください。 ボリュームを上げて適正音量にしてください。
音が歪む。	・WRT-824の音量スイッチが「大」側になっています。	音量が過大入力です。音が歪まないようにWRT-824の音量スイッチを「小」側にしてください。
音切れ、ノイズが発生する。	・本機の電源を切っても、チューナーのRFインジケーターが点灯している。	妨害電波が出ています。 まず、チューナーをRFインジケーターが点灯していないチャンネルに設定し、次に本機を同じチャンネルに設定してください。 2台以上の送信機を同時に運用している場合は、妨害電波のない他のグループに変更してください。
	・本機とチューナーのチャンネルが違っている。 ・2台以上の送信機が同じチャンネルになっている。	本機とチューナーのチャンネルを合わせてください。 同一チャンネルで2台以上の送信機は使用できません。 チャンネル表に従って各送信機のチャンネルを設定し直してください。



### △ 危険

「電池についての安全上のご注意」をよくお読みください。